

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

北海道 豊浦町

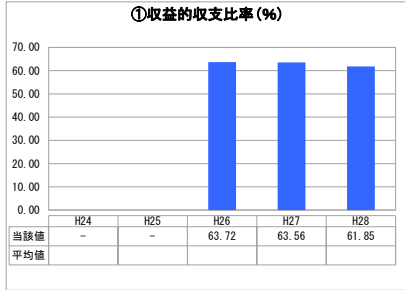
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	28.64	100.00	3,080

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,180	233.57	17.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,197	231.51	5.17

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



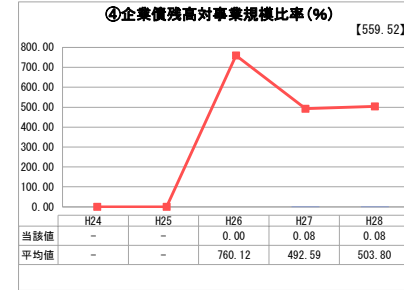
「単年度の収支」



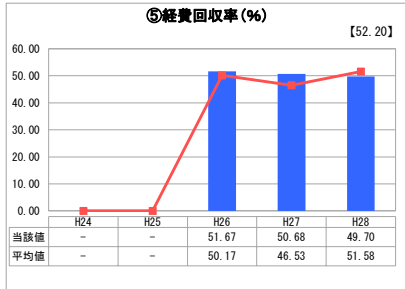
「累積欠損」



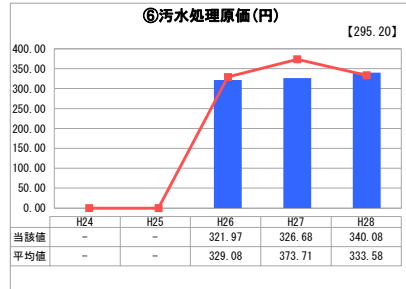
「支払能力」



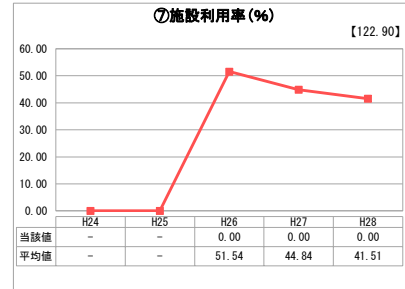
「債務残高」



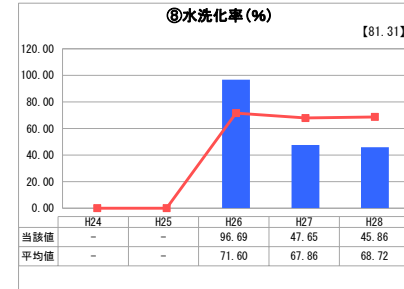
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

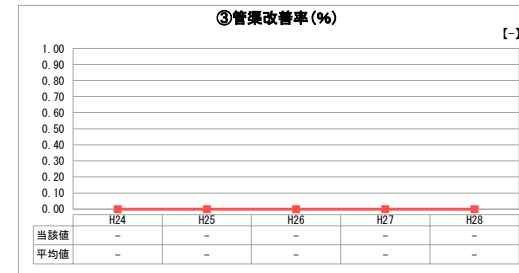
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

前年度同様に収益的収支比率が年々減少傾向にあり、収入不足を繰入金に依存していることから、平成29年4月から料金改定を実施し、収入の改善を見込んでいる。経費回収率、施設利用率は前年度よりも若干の改善傾向がみられるが、汚水処理原価が上昇していることから、今後も引き続き現状分析及び将来推計による改善に向けた取り組みが必要である。

### 2. 老朽化の状況について

合併処理浄化槽は日常の点検時に不具合が確認された場合は都度修繕を行っている。また、経年劣化もほとんど見られないため、喫緊で老朽対策を講じる必要は今のところない。

### 全体総括

経費回収率、施設利用率は前年度よりも改善傾向がみられるため、更なる改善を図っていく。設置基数の増加と共に維持管理費も増加傾向にあるため、経営の効率化、改善化に向けた取り組みが必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。